

2005年3月期 第3四半期 補足資料

2005年1月26日
杏林製薬株式会社

< 連結売上高について >

(単位：百万円)

	通期		中間期		第3四半期(4月～12月)		
	03年度 実績	04年度 見込み	03年度 実績	04年度 実績	03年度 実績	04年度 実績	前年比 (%)
売上高	65,061	65,200	30,831	31,056	48,832	50,314	+3.0
国内医療用	51,546	51,600	24,670	23,686	39,362	39,865	+1.3
海外医療用	8,533	8,800	3,672	5,172	5,576	7,006	+25.6
その他	3,510	3,300	1,794	1,564	2,783	2,457	▲11.7
販売促進・広告の 企画制作	1,471	1,500	693	632	1,111	985	▲11.3
営業利益	8,766	5,700	3,387	1,595	—	4,451	—
経常利益	8,597	6,200	3,336	1,974	—	4,981	—
当期純利益	5,692	3,300	4,643	1,307	—	3,475	—

< 主要製品の売上高について >

(単位：億円)

	製品名	通期		中間期		第3四半期(4月～12月)		
		03年度 実績	04年度 見込み	03年度 実績	04年度 実績	03年度 実績	04年度 実績	前年比 (%)
国内	ムコダイン (気道粘液調整・正常化剤)	180	182	78	77	132	136	2.8
	キプレス (LT受容体拮抗剤・気管支喘息治療剤)	98	117	43	52	73	89	21.4
	ケタス (気管支喘息・脳血管障害改善剤)	70	67	35	32	54	51	5.6
	ペントサ (潰瘍性大腸炎・クローン病治療剤)	60	63	30	31	46	49	6.9
	アブレース (胃炎・胃潰瘍治療剤)	29	25	15	13	23	21	11.7
	ロカルトロール (活性型ビタミンD3製剤)	27	24	14	12	21	19	11.8
	バクシダ-ル (広範囲経口抗菌剤)	9	5	4	3	7	5	29.0
	ガチフロ(自社販売) (広範囲合成抗菌薬)	17	22	6	9	12	16	33.6
	ミルトン (哺乳ビン・乳首消毒剤)	27	23	14	12	21	18	14.4
海外	ガチフロキサシン (バルク・ロイヤルティ含む)	71	81	30	48	45	64	40.6
	ノルフロキサシン (バルク・ロイヤルティ含む)	11	4	6	2	8	3	64.3

ガチフロキサシン・ノルフロキサシンは、それぞれライセンシー向けのバルク売上とともに、ライセンシーの販売に応じたランニングロイヤルティを含んだ売上を計上いたしております。

< 開発品目の進捗について >

開発段階		製品名・開発コード	薬効	備考
日本	海外			
上市 (04年9月)		シンセロン錠 8mg N-3389 (錠)	制吐剤	日清キョーリン製薬が単独で申請 ・日清製粉グループ 日清ファルマと共同開発 ・ヤクルト本社より新発売
申請 (04年10月)	Ph	ウリトス KRP-197 (錠)	尿失禁治療剤 (過活動膀胱)	海外：英国においてPh 終了 国内：小野薬品工業と共同開発・ 販売(予定)
申請 (04年7月)		キプレス細粒 4mg	気管支喘息 治療剤	剤形追加 小児(1~5歳)用 用法・用量の変更 万有製薬と共同開発
Ph (04年10月)		モンテルカスト	気管支喘息 治療剤	効能追加 *成人 アレルギー性鼻炎 万有製薬と共同開発
Ph		ペキロン ネイルラッカー	爪白癬治療剤	マルホと共同開発
Ph (04年10月)	Ph (10月)	N-5984 (錠)	糖尿病治療剤 抗肥満剤	日清製粉グループ 日清ファルマと 共同開発
	Ph (6月)	KRP-101 (錠)	高脂血症治療剤	

< 導出品の状況について >

開発段階		製品名・開発コード	薬効	備考
日本	海外			
上市 (04年9月)	発売 (03年4月)	ガチフロ 0.3% 点眼液	合成抗菌剤	千寿製薬へ日本における開発、製剤及び 販売権を供与(9月7日新発売)

< 導出品の状況について：前臨床 >

製品名・ 開発コード	導出先・ 共同研究先	薬効	起源	備考
未定	米国 メルク社	合成抗菌剤	自社 米国メルク社	・共同研究 ・独占的ライセンスに関する契約締結 (04年7月)
アルファガン/ アルファガンP	千寿製薬	緑内障 治療薬	米国 アラガン社	・アラガン社より導入(ガチフロキサシ ン点眼液のクロスライセンス) ・千寿製薬に導出(04年5月)
ケタス	米国 メディシノバ社	脳血管障害 治療薬	自社	・多発性硬化症の適応での日本、中国、 韓国、台湾を除く全世界における 独占的な開発、製造販売権を供与 (04年10月)